## ISTQB/JSTQBの最新動向 と今後の活動について

2017/2/4

JSTQB 技術委員会



## agenda

- ▶ ISTQB/JSTQBとは ~JSTQBの主な活動~
- ▶ JSTQB認定テスト技術者資格のご紹介
- トパートナープログラムのご紹介
- ▶今後の予定

# ISTQB/JSTQBとは ~JSTQBの主な活動~

## ISTQBとは

- ▶ ソフトウェアテストに関する国際的な資格認証を行う 非営利団体
  - ▶ 2002年に設立
- ▶ 1998年に開始されたUKのISEB資格認証を基に移行
- ▶ 原加盟国はヨーロッパ 8ヶ国
  - オーストリア、デンマーク、フィンランド、ドイツ、 スウェーデン、スイス、オランダ、イギリス
- ▶ 2017年2月時点 110ヶ国以上で展開
- 本部はブリュッセル(ベルギー)



## ISTQB資格認定の目的

- ▶ 国をまたいでテストのスキルを同等の基準で判断できるため
- テスト技術者が更に簡単に国をまたいで仕事をできるように するため
- 多国籍/国際的なプロジェクトがテストに関して共通の認識を 持つようにするため
- シラバスなどを通して、国際的にテストへの理解と知識の体系を普及させ、全ての本資格認定に関わる人たちの知識レベルを上げるため
- テストがプロフェッショナルな能力を必要とすることを多くの 国々で普及させるため

ISTQBテスト技術者資格制度 Foundation Level シラバス 日本語版 Version 2011.J02 付録Aより

## JSTQBとは

- ▶ ISTQBの加盟国として、日本国内でISTQBに沿った技術者 資格認証を行う組織
  - ▶ 2005年にISTQBに加盟
  - ▶ 資格認証と、それに伴う各種認定業務を実施
  - 組織上は NPO 法人 ASTER (ソフトウェアテスト技術振興協会) に所属
- ▶ JSTQB/ISTQBの活動を通して、日本のソフトウェア技術者の テスト技術の向上に貢献すべく活動中
  - 多くの技術者に資格認証を実施
  - ▶ JSTQB委員自身も問題を自ら問題を作成するなど技術向上に 日々努める
  - 日本のソフトウェアテスト技術者の国際的プレゼンスの向上を 目指す

## JSTQBの主な活動(1/2)

- ▶ 資格試験活動 → 後ほど詳しく
  - ▶ Foundation Level 2006年開始
  - ▶ Advanced Level (テストマネージャ) 2010年開始
  - ▶ Advanced Level (テストアナリスト) 2016年開始
- ▶ ISTQBパートナープログラム認定 2015年開始

→ 後ほど詳しく

- ▶ ISTQB/National Board対応
  - ▶ 年2回GA(国際会議)出席/委員派遣
- ▶ 各種プロモーション活動
  - ▶ シラバス説明会、カンファレンス(2010) など
  - ▶ IPAが取りまとめるiCDとの連携

→ 後ほど詳しく

## JSTQBの主な活動(2/2)

- ▶ 書籍の認定および研修コースの認証活動
- ✓ 公認書籍
  - ▶ 株式会社 翔泳社様 「ソフトウェアテスト教科書 JSTQB Foundation」第3版
- ✓ 公認研修コース
  - ▶ 株式会社 豆蔵様 JSTQB認定テスト技術者-Foundation Levelトレーニング
  - ► 一般財団法人 日本科学技術連盟様 JSTQB認定ソフトウェアテスト技術者-Foundation Levelトレーニングコース

## 資格試験活動のご紹介

## ISTQB/JSTQBの認定技術者

グローバル (ISTQB) では、

## 110か国で約47万人の認定者

日本 (JSTQB) では、

## 国内で認定者が1万3千人を突破

※ 2017年2月現在

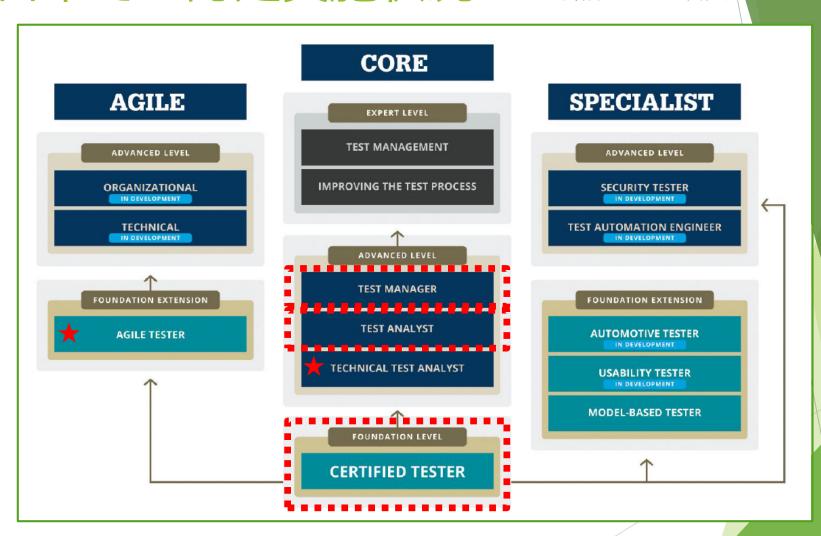
JSTQBのテスト技術者資格は、ISTQBを通じて加盟 組織間で相互認証される世界的資格

#### 3つのストリーム 資格の種類 **CORE SPECIALIST AGILE** EXPERT LEVEL **TEST MANAGEMENT** ADVANCED LEVEL ADVANCED LEVEL **IMPROVING THE TEST PROCESS ORGANIZATIONAL SECURITY TESTER** IN DEVELOPMENT IN DEVELOPMENT **TEST AUTOMATION ENGINEER TECHNICAL** IN DEVELOPMENT IN DEVELOPMENT ADVANCED LEVEL **TEST MANAGER** FOUNDATION EXTENSION FOUNDATION EXTENSION **TEST ANALYST AGILE TESTER AUTOMOTIVE TESTER** IN DEVELOPMENT **TECHNICAL TEST ANALYST USABILITY TESTER** IN DEVELOPMENT **MODEL-BASED TESTER** FOUNDATION LEVEL **CERTIFIED TESTER**

### 日本での認定実施状況

#### 日本で認定実施中

★ 日本語版シラバス準備中

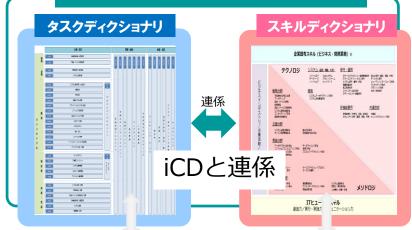


## i コンピテンシ ディクショナリ(iCD) とJSTQBが連係



i コンピテンシ ディクショナリ(iCD)は、IPAが公開する、経営改善や人材育成に活用できるしくみ 企業においてITを利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支えるIT人材の 能力や素養(スキル)を「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもの IPAは、2014年7月31日にiCDの試用版を、2015年6月30日にその正式版となる 「iCD2015」を公開 2016年6月6日に「iCD2016」、2016年11月7日に「iCD2016V2」を公開

#### i コンピテンシ ディクショナリ





<u>詳しくは「iCDオフィシャルサイト」にアクセス</u> https://icd.ipa.go.jp/icd/icd/learning iCD活用システムやiCDオフィシャルサイトに JSTQBの3つの資格との連係情報が掲載! →例えば、JSTQB-FLに合格すると、 どのテスト業務のレベルが向上したかがわかる

#### iCD活用システム iCDオフィシャルサイト



IPA interesting Promotion Agency, Japan	独立行政法人情報処理推進機構 (2)	=	0
iStudy	アイスタティ株式会社 ぴ	0	175
TEC	株式会社アイテック ぴ	0	-
AES 既生教育サービス株式会社	麻生教育サービス株式会社 ぴ	0	~
INFOTECH SERVE	株式会社インフォテックサーブ ぴ	0	100
元之ぞ名人材機能などを	株式会社ウチダ人材開発センタ(2)	0	-
サーディファイ	株式会社サーディファイ ぴ	-	0
JSTQB	JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)   ©	-	0
NOWVILLAGE	株式会社NOWVILLAGE C	0	1-
HITACHI Implie the Next @UD(2745-745/7875-	株式会社日立インフォメーションアカデミー ぴ	0	2
FJC	株式会社福岡ソフトウェアセンター ぱ	0	=
FUITSU 富士通ラーニングメディア	株式会社富士通ラーニングメディア ぴ	0	1-

## Foundation Level 対象者

- ソフトウェアのテスト作業に関与する全ての人が対象
  - テスト担当者、テストアナリスト、テストエンジニア、 テストコンサルタント、テストマネージャ、ユーザ 受け入れテスト担当者、ソフトウェア開発者
  - プロジェクトマネージャ、品質管理マネージャ、 ソフトウェア開発マネージャ、ビジネスアナリスト、 IT部門長、経営コンサルタント

## Foundation Level 試験範囲

#### ▶ FLシラバス ※

- ▶ FLシラバスに記述されている内容を含めて問題を構成
- ▶ シラバスで使用されている用語と定義については 「ソフトウェアテスト標準用語集」に従う

\* FL : Foundation Level

## Foundation Level 試験形式

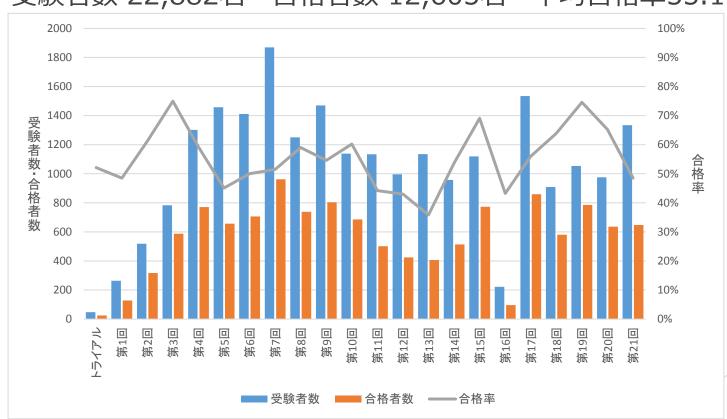
- 試験時間:60分
- 出題形式:複数の選択肢から正解を選ぶ形式
  - 複数の正解を選ぶ形式で出題される場合もある
- ▶ 解答形式:マークシート記述式
- ▶ 問題数:40問
- ▶ 退出可能時間:30分経過後/再入場不可
- ▶ 合格ライン: ISTQBの「ISTQB Exam Information」に従う http://www.istqb.org/downloads/viewcategory/6.html
- ▶ 受験時に持参が必要なもの
  - ▶ 受験票
  - ▶ 筆記用具:鉛筆・消しゴム

## Foundation Level 試験開催実績

- ▶ 2016年1月 トライアル試験開催
- 2016年8月第1回試験開催
- ▶ 以降、年2回開催し、2016年までに全23回開催
  - ▶ 次回開催 2017年2月11日(土)
- ▶ これまでの主な開催場所
  - 札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、福岡、熊本、宮崎、 那覇 など
- ▶ 一定の人数(30人程度以上)が集まれば、他の都市でも 開催を検討可能

## Foundation Level 試験実施データ

累計 受験者数 22,882名 合格者数 12,605名 平均合格率55.17%



## Advanced Level 対象者

- ソフトウェアのテストの分野で 高度なレベルに到達している人を対象
- ▶ 想定対象者:ソフトウェアテスト作業に関与するすべての人
  - テスト担当者、テストアナリスト、テストエンジニア、 テストコンサルタント、テストマネージャ、ユーザ受け入れ テスト担当者、ソフトウェア開発者
- さらに、ソフトウェアテストへの深い理解を望む人々
  - プロジェクトマネージャ、ソフトウェア開発マネージャ、 IT部門長、品質管理マネージャ、ビジネスアナリスト、 経営コンサルタント

## Advanced Level 資格種別

- ▶ Advanced Level認定は、主要な3つの資格種別において、 組織内における代表的な基本的責務と期待されることに ついて試験する
- ▶ Advanced Levelの資格種別は次の3つ
  - ▶ Advanced Level テストマネージャ (認定実施中)
  - ▶ Advanced Level テストアナリスト (認定実施中)
  - ▶ Advanced Level テクニカルテストアナリスト (認定準備中)
- ▶ 各資格種別は独立しており、共有または共通の要素は存在 しない

### **Advanced Level**

## 試験範囲

- テストマネージャ
  - ▶ A Lシラバス(テストマネージャ) + F Lシラバス ※
- ▶ テストアナリスト
  - ▶ A Lシラバス(テストアナリスト) + F Lシラバス ※
- ▶ FLシラバスに記述されている内容を含めて問題を構成 そのため、FLシラバスに書かれている概念や技法を用いる問題が、出題 される可能性がある
- シラバスで使用されている用語と定義については「ソフトウェアテスト標準用語集」に従う
- ▶ A L シラバスには資格種別ごとに学習の目的がある
  - ▶ シラバスのリストには、K2・K3・K4レベルの学習目的のみを記載しているが、 本シラバスのすべての箇所が、K1レベル、すなわち用語や概念についての 知識として試験対象となる

## Advanced Level 受験資格(1/2)

- 次に示す1と2の条件をすべて満たす者
  - 1. JSTQB認定テスト技術者資格 Foundation Level資格の合格者
    - 受験申込書類に、認定書の写しの添付が必要
    - ▶ 認定書を無くした場合は合格証明書の 発行を依頼して添付
    - ▶ 他国でFoundation Level資格に合格している場合も受験可
      →この場合も認定書の写し、または合格証明書の添付が必要

## Advanced Level 受験資格(2/2)

- 次に示す1と2の条件をすべて満たす者
  - 2. 下記業務に関して通算3年以上の経験と それを示す「経歴書」提出が必要
    - ソフトウェア開発に関する業務
    - ソフトウェア開発のプロセス改善を含む品質保証 に関する業務
    - ソフトウェアの研究開発(R&D)に関する業務
    - ソフトウェアテストに関する業務
  - ※業務経験3年は経歴書の内容で判断
    - →ご本人、または経歴書記載の連絡先に対して確認をする場合あり

## Advanced Level 試験形式

- 試験時間:180分
- 出題形式:複数の選択肢から正解を選ぶ形式
  - 複数の正解を選ぶ形式で出題される場合もある
- ▶ 解答形式:マークシート記述式
- 問題数:テストマネージャ 65問、テストアナリスト 60問
- ▶ 退出可能時間:60分経過後/再入場 不可
- ▶ 合格ライン: ISTQBの「ISTQB Exam Information」に従う http://www.istqb.org/downloads/viewcategory/6.html
- 受験時に持参が必要なもの
  - ▶ 受験票
  - ▶ 筆記用具:鉛筆・消しゴム

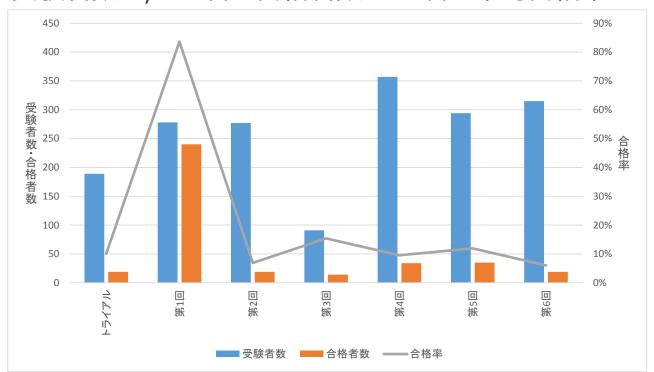
## Advanced Level 試験開催実績

- テストマネージャ
  - ▶ 2010年8月 トライアル試験開催
  - ▶ 2011年8月 第1回試験開催
  - ▶ 2013年以降、年1~2回開催し、2016年までに全7回開催
- テストアナリスト
  - ▶ 2016年2月 第1回開催
  - ▶ 次回(第2回)開催2017年2月11日(土)
- ▶ これまでの主な開催場所
  - 札幌、東京、名古屋、大阪、福岡
- ▶ 一定の人数(30人程度以上)が集まれば、他の都市でも開催を 検討可能

## Avanced Level 試験実施データ

テストマネージャ

累計 受験者数 1,801名 合格者数 380名 平均合格率20.48%



テストアナリスト(第1回)受験者数351名 合格者数43名 合格率<mark>12.25%</mark>

## シラバス

FL、AL(テストマネージャ)、AL(テストアナリスト)の シラバス(日本語版)は JSTQBのサイトより無償でダウンロード できます!

http://jstqb.jp/

# ISTQB パートナープログラム 認定のご紹介

## パートナープログラムとは

### ▶目的

▶ テスト技術者資格認定者の技術を通して、品質技術およびテスト技術の向上に尽力している会社や組織を認定するパートナーシップスキーム

### ▶趣旨

▶ 認定技術者の裾野の拡大とレベルアップを通して、パートナー会社/組織の人財育成に寄与するもの

## パートナーのメリット

- 1 ISTQBおよびJSTQBのウェブサイトにパートナー 会社/組織の名称、ロゴ(ISTQBサイトのみ)、 パートナーシップレベルなどを掲載
- ② パートナー会社/組織のウェブサイトや販促材料にISTQBパートナープログラム関連のロゴなどを使用可能に
- ③ JSTQBはパートナープログラム参加組織の認定 技術者を対象としたコミュニティの形成および イベントの開催を企画

## パートナーシップレベル

### 4レベルで構成









## パートナーシップを結ぶには

組織内のISTQB 認定試験のレベルと認定数に応じた合計ポイントによって決まる

レベル	ポイント数	付带条件
Silver	5	特になし
Gold	14	少なくとも1名のAdvanced Level認定者が必要
Platinum	30	少なくとも1名のAdvanced Level認定者が必要
Global	-	少なくとも2つのGoldと1つのPlatinumパート ナーシップが少なくとも2ヵ国で必要

#### ※各レベルに付与するポイントは下記の通り

- ▶ Foundation Level 1ポイント
- ▶ Advanced Level 3ポイント (TM/TA/TTA毎)
- ▶ Expert Level 5ポイント(ITP/TM/TAU/SET毎)

## パートナーシップの 登録・更新料

パートナーシップの有効期間は1年 パートナーシップレベルの新規登録、更新に必要な 料金は以下の通り(税別)

レベル	登録/更新料金	パートナーシップ料金(*1)	合計額
Silver	15,000円	40,000円	59,000円
Gold	15,000円	80,000円	95,000円
Platinum	15,000円	160,000円	175,000円
Global	300,000円	0円(*2)	300,000円

- (\*1) 次年度以降引き続き更新を申請する場合は、30% 割引適用
- (\*2) 各ボードへのSilver/Gold/Platinumの登録/更新料金と パートナーシップ料金は別

## 認定パートナー ※2017年2月現在

Platinum Partner







株式会社ウェブレッジ

バルテス株式会社

株式会社ベリサーブ

Gold Partner





株式会社エリントシステム バルテス アドバンスド テクノロジー株式会社

Silver Partner



PSソリューションズ株式会社

# 今後の予定

## 今後の予定

- ▶ 試験開催
  - ▶ Foundation Level 年2回実施
  - ▶ Advanced Level(テストアナリスト) 年1回実施
  - ▶ Advanced Level(テストマネージャ) 年1回実施
- 日本語版シラバス公開および試験開始(時期未定)
  - ▶ Advanced Level (テクニカルテストアナリスト)
- 日本語版シラバス公開(時期未定)
  - ► Foundation Level Extension Syllabus Agile Tester

Q&A

# E0F

JSTQBに関するお問い合わせ窓口 JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)

E-mail: query@jstqb.jp

※1:本アドレスで受けられるメールの最大容量は50KBとなっておりますのでご注意ください ※2:お問合せの内容によっては、検討後に回答させていただくものもあり、お時間をいただく場合があります

> FAQもあわせてご利用ください http://jstqb.jp/faq.html